

交野市「公の施設」の指定管理事業者案が提案されました

——日本共産党は営利を目的とする民間企業の指定には反対——

12月議会で、平成24年4月から5年間を指定管理期間とする「10の公の施設」の管理業者候補（案）が提案されました。そのうち民間企業の管理が提案されている「いわふね自然の森スポーツ・文化センター」「総合体育館」の2施設について、日本共産党は反対しました。他の8施設については賛成しました。

日本共産党は、「住民の福祉増進を図る」目的で設置された「公の施設」の管理運営は、直営もしくは営利を目的としない法人によって行なわれるべきだと考えています。

「公の施設」の管理運営を、利潤追求を目的とする株式会社などの民間事業者に委ねると企業の収益拡大のため、市民サービス低下や人件費削減など、働く人の権利の後退に繋がるおそれがあるからです。

今回、新たな管理者となる施設での雇用について日本共産は、市に対し、現在働いている人を引き続き雇用する事や、労働条件の引き下げを行わないよう要望しました。

*指定管理者制度とは、自治体からの委託で「公の施設」を、非営利団体や民間企業などが管理運営するものです。

指定管理施設では毎年市民ニーズ調査を行っています。
日本共産党は皆さんからの要望を実現するように求めました。

「青年の家」

● 駐車スペースがなくて困っているので増やして欲しい。

● エレベーターを設置してほしい。

「いわふね自然の森スポーツ・文化センター」

● インターネット予約ができるように欲しい。

● 一日も早いプラネタリウムの再開を。



「総合体育館」

● 日曜日・祝日の会館時間（現在午後5時）の延長を。

● ロッカー・シャワー室の備品が破損、欠損している修繕を。

「ゆうゆうセンター」

● 冷暖房設備は故障も多く、効率が悪いので改善を。

● パソコンプロジェクター、スクリーンの貸し出しを。

「自転車駐車場」

● 夜は暗くて危険なので防犯カメラなどの対策を。

● 長期利用者の割引をして欲しい。



■交野市指定管理施設および指定管理者候補一覧表

施設の名	指定管理者候補名	指定管理料（単位：円）		
		21～23年度まで年間平均額	24～28年度の5年間平均額	
① 青年の家	財団法人 交野市体育文化協会	39,212,000	38,796,200	非公募
② 第1児童センター	財団法人 交野市体育文化協会	6,709,000	6,703,000	非公募
③ いわふね自然の森文化センター	毎日美装株式会社	39,838,000	30,560,000	公募
④ 星田西体育館	財団法人 交野市体育文化協会	8,455,000	8,179,200	公募
⑤ 総合体育施設	美津濃株式会社	67,292,000	64,900,000	公募
⑥ 世代間交流センター（ゆうゆうセンター）	社会福祉法人 交野市社会福祉協議会	57,248,000	57,248,000	非公募
⑦ 高齢者生きがい創造センター	公益社団法人 交野市シルバー人材センター	1,053,000	1,053,000	非公募
⑧ ボランティアセンター	社会福祉法人 交野市社会福祉協議会	6,512,000	6,512,000	非公募
⑨ 自転車駐車場	公益社団法人 交野市シルバー人材センター	77,115,333	77,103,000	非公募
⑩ 私部公園・倉治公園	財団法人 交野市体育文化協会	5,459,000	5,310,600	非公募